

NEWS RELEASE

化粧品のための動物実験代替法の開発・普及を促す LUSH PRIZE 2013 年度 ノミネートスタート

英国の LUSH(ラッシュ)は、化粧品のための動物実験をなくすための取り組みとして 2012 に設立させた LUSH PRIZE(ラッシュプライズ)の 2013 年度ノミネートを 2013 年 4 月 15 日(月)よりスタートいたしました。このプライズは、動物実験代替法の開発・普及活動を行う団体や個人に賞金を授与するものです。

化粧品の動物実験の代替法の開発・普及において、以下の 5 つの分野で目覚ましい貢献を果たした団体・個人からの応募を受け付けます。

- Science Prize — 動物実験にとって代わる代替法の開発
- Training Prize — 動物を伴わない方法の研究者育成
- Lobbying Prize — 代替法の利用を促進するためのロビー活動
- Public Awareness Prize — 動物実験に関する世論喚起
- Young Researcher Awards — 代替法の研究を専門とした研究者



このラッシュプライズへは www.lushprize.org よりフォームをダウンロードの上、お申込みいただくことが可能です。エントリー締め切りは 2013 年 7 月 15 日(月)といたします。過去 1 年間において、特に素晴らしい功績を上げたプロジェクトが対象です。個人が推薦するプロジェクトをノミネートすることができるほか、プロジェクトを実行している団体自身の応募も可能です。

ラッシュプライズを創設した 2012 年度は、8ヶ国に渡る 13 団体に総額 25 万ポンドを授与いたしました。2012 年度を受賞者(団体)は、イタリア、アメリカ合衆国の科学者、日本およびインドでのキャンペーン活動団体、デンマーク、イギリスの若手研究者、そしてカナダの映像制作会社などでした。今年も、昨年に引き続き 25 万ポンドを賞金とし、多くの素晴らしい団体・個人を表彰しその活躍を称えたいと考えます。

ラッシュプライズ担当者 Katy Brown...

“ヨーロッパにおいて、2013 年 3 月 11 日原材料にいたるまで化粧品のための動物実験が禁止されたという素晴らしいニュースがある一方で、アジアやアメリカに於いては現在もなお、動物実験が続けられています。ラッシュプライズのゴールは、この分野で活躍する科学者を奨励し、あらゆる手段で“アニマルフリー”な化粧品の安全性確認の必要性へと、社会の関心を向けさせることであり、その重要性は今まで以上に高まることでしょう。2012 年の受賞者は、すべての分野において、私たちにインスピレーションを与えてくれた、とても画期的な取り組みを実行された皆さまでした。私たちは、本年度のラッシュプライズが、昨年に引き続き実りあるものとなることを願っています。”

◆LUSH PRIZE とは◆

2012 年 6 月、英国のラッシュと消費者団体「Ethical Consumer」の共同で設立され、化粧品の動物実験廃止を目指した活動をしている個人や団体をたたえるプライズ。対象となる 5 分野は、「Science Prize(動物実験に代わる代替法の開発)」、「Training Prize(動物を伴わない方法の研究者育成)」、「Lobbying Prize(代替法の利用を促進するためのロビー活動)」、「Public Awareness Prize(動物実験に関する世論喚起)」、「Young Researcher Awards(代替法の研究を専門とした研究者)」。

第 1 回授賞セレモニーは 2012 年 11 月ロンドンで開催されました。

【参考資料】 LUSH PRIZE 2012 受賞者一覧

Science Prize 動物実験に代わる代替法開発部門			
Institute for Health and Consumer Protection	Italy	£50,000	毒性経路および毒物学の開発に関する研究
Lobbying Prize 代替法の利用を促進するためのロビー活動部門			
Humane Society International	USA	£40,000	EUでの非食品類に対する農薬規制から動物実験を除外するための活動
Federation of Indian Animal Protection Organisations	India	£5,000	インド国内における動物実験に関する調査及びロビー活動
People for the Ethical Treatment of Animals India	India	£5,000	インド政府に対する動物実験禁止に関する活動
Training Prize 動物を伴わない方法の研究者育成部門			
Institute for In Vitro Sciences	USA	£25,000	ブラジルから日本に至るまでの代替法の教育訓練
InterNICHE	UK	£25,000	南アメリカ、アフリカ、旧ソビエト連邦諸国でのトレーニング活動
Public Awareness Prize 動物実験に関する世論喚起			
Japan Anti-Vivisection Association	Japan	£30,000	資生堂に対する動物実験廃止キャンペーン活動の成功
Decipher Films	Canada	£10,000	動物実験に関する映像作品制作
VITA Animal Rights Centre	Russia	£10,000	ロシアのメディアを通じての世論喚起
Young Researcher Prize 代替法の研究を専門とした大学院生部門			
Elizabeth Woehrling	UK	£12,500	神経毒性の新しいインヴィトロ研究開発
Felix Rivera-Mariani	USA	£12,500	新規分野における既存の非動物実験の拡大
Chiara Scanarotti	Italy	£12,500	皮膚感査性と科学合成物質の研究
Line Mathiesen	Denmark	£12,500	胎盤組織に対する毒性物質の研究